

船舶事故調査報告書

平成28年11月10日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	転覆					
発生日時	不明（平成28年3月7日 21時26分ごろ～8日 00時26分ごろの間）					
発生場所	不明（徳島県吉野川河口付近）					
事故の概要	漁船躍進丸は、船外機が汚濁防止膜に引っ掛かった状態で転覆しているところを発見された。 躍進丸は、船長が死亡し、船外機に濡損を生じた。					
事故調査の経過	平成28年3月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。					
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 躍進丸、0.5トン T03-20209（漁船登録番号）、個人所有 4.69m (Lr) × 1.62m × 0.63m、FRP ガソリン機関、30kW（漁船原簿謄本による）、平成8年6月10日					
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成8年9月3日 免許証交付日 平成27年11月30日 （平成33年9月2日まで有効）					
死傷者等	死亡 1人（船長）					
損傷	船外機に濡損					
気象・海象	気象：天気 晴れ、視界 良好 本船発見場所の南西方約1.8海里（M）に位置する徳島地方気象台の観測値は、次のとおりであった。					
			平均		最大瞬間	
	日付	時刻 (時：分)	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)
	3月7日	20:00	南西	0.9	南南西	1.8
		21:00	静穏	0.1	南南東	0.5

		22:00	東	0.8	東	1.2
		23:00	西南西	0.8	西北西	1.8
	8日	00:00	南西	0.9	南西	1.4
		01:00	西南西	0.6	南南西	1.7

海象：海面水温 約17℃（気象庁 日別海面水温における解析値）
 全国港湾海洋波浪情報網（ナウファス）による波浪観測値
 徳島小松島港（本船発見場所の南東方約3.2M）における波浪観測値は、次のとおりであった。

日付	時刻 (時：分)	有義波*1		波向
		波高 (m)	周期 (s)	
3月7日	20:00	0.74	9.0	南東
	21:00	0.73	9.2	南南東
	22:00	0.79	9.3	南東
	23:00	0.81	9.2	南東
8日	00:00	0.83	9.2	東南東
	01:00	0.82	9.2	南東

本事故当時、気象に関する警報及び注意報の発表はなかった。

事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成28年3月7日20時00分ごろ自宅を出て、しらすうなぎ漁の目的で、徳島県小松島市の係留地を出発した。</p> <p>海上保安庁は、21時26分ごろ、船長から、波が高くて波をかぶっているので助けてほしい旨の118番通報を受け、巡視船艇及び航空機を出動させて捜索を行ったところ、8日00時26分ごろ、吉野川河口の左岸付近において、船外機が汚濁防止膜に引っ掛かった状態で転覆している本船を発見した。</p> <p>船長は、31日07時10分ごろ、徳島県徳島市小松海岸において発見され、溺死と検案された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p>
その他の事項	<p>本船は、和船型の船であった。</p> <p>船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>船長は、本事故当日、体調不良等を訴えていなかった。</p> <p>本事故当時、吉野川河口の両岸付近では橋梁築造工事のための汚濁防止膜が展張されていた。</p> <p>（写真1 本船 参照）</p>
分析 乗組員等の関与	不明

*1 「有義波」とは、ある地点で連続する波を観測したとき、波高の高い方から順に全体の1/3の個数の波を選び、これらの波高及び周期を平均したものをいう。1/3最大波ともいう。

<p>船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明</p> <p>本船は、7日21時26分ごろ船長が118番通報した後、8日00時26分ごろ吉野川河口の左岸付近で転覆した状態で発見されたことから、この間において転覆したものと考えられる。</p> <p>本船は、船長が、波が高くて波をかぶっているのを助けてほしい旨の118番通報を行っていることから、波が関与して転覆した可能性があると考えられるが、転覆に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、吉野川河口付近で転覆したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象海象情報及び自船の^{たん}堪航性を考慮し、航行の可否を判断すること。

付図1 事故発生場所概略図



※国土地理院Webサイトの地理院地図使用

写真1 本船

